



寺田校長の広聴・高調コミュニティ広場

4月から5月にかけて休憩時間に、全校児童との面談を行いました。目的は、神石小学校が子供たちに身に付けたい資質・能力のうち、アイデンティティ(自分のことをよく知ること)コミュニケーション力(話す力)を身に付けることです。ほかにも、早く子供たちのことを知るために行いました。質問内容は、次の通りです。

- ・自分の長所と短所を教えてください。
- ・これまででいちばん思い出に残っていることは何ですか。
- ・今がんばっていることはどんなことですか。
- ・将来の夢は何ですか。
- ・困っていることや気になることはありませんか。

どの子もすべての質問に答えることができました。素晴らしいことです。長所は、やさしい、すぐに行動、あきらめない、ノリがいいなど。短所は、わすれものが多い、整理整頓が苦手、すぐおこる、朝起きられないなど。比較的難しかったのが、長所を答えることでした。ある子は、はじめ「ありません。」という返答でした。しかし、「〇〇さんの～な姿を見たことあるよ。」と誘い水とすると、少し考え、「『ありがとう』が言えるところかな。」と、自分みつけをすることができました。

将来の夢は、獣医、弁護士、教師、警察官など人の役に立つ仕事、ケーキ屋さんや料理人、ネイリスト、サッカーの選手など、周りの人を喜ばせられる仕事、理容師、ダンプの運転手、電気屋など、家族の姿を見てのあこがれの仕事を答えました。個性的な答えとしては、ギャル、ユーチューバー、宇宙飛行士などがありました。

困っていることや気になることの質問では、ほとんど「ありません。」という答えでした。高学年になると、去年に比べて男女で話しづらくなったと悩みを伝える子もいました。このような悩みについては教職員間で共有し、改善につないでいます。私は一人一人の子が「クラスの～な雰囲気を変えたい。」と発信できる子になってほしいと願っています。逆に質問を受けることもありました。「困っていることはないのですが、気になることはあります。校長先生の将来の夢は何ですか？」と。予想外の展開にびっくり仰天でしたが、「菊づくりのプロになることです。」と答えました。私も60歳ですが、いくつになっても夢や目標を持つことの素晴らしさに改めて気づかされた思いです。少し子供たちと近づけたひとときでした。

以前は、校長室は気軽に入れない部屋だったかもしれませんが、令和の子供たちは緊張感の中でも一つ一つの質問に誠意を見せて答える姿が印象的でした。今後も、子供たちのことをよく知り、子供たちに力を付ける学校でありたいと考えております。保護者の皆様も子供たちにどんな受け答えをしたか、聞いてみてください。

